

平成30年度2月号 [2月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

失敗を生かす

校長 安部正幸

あと二週間で3年生は公立高校の入試をむかえます。私はこの日が近づいてくると、今でも毎年自分の高校入試を思い出します。私の受検番号は、発表当日その掲示板にはありませんでした。担任の先生に結果を報告するため中学校まで戻ったのですが、どのようにして戻ったのかよく覚えていません。

失敗の連続の後に得たもの

入試で失敗したのは高校だけではありませんでした。大学入試でも発表当日、私の受験番号はありませんでした。このとき「何でいつも自分の番号はないんだろう。」と高校入試の時を思い出していました。高校ですら多額の費用がかかる私立へ行かせてもらったのに、この上浪人では親が予備校代を出してくれるだろうかと不安になりました。しかし、どうしても第一希望校へ行きたいという願いを聞いてもらい一浪して大学へ入りました。それから4年後の就職試験(教員採用試験)では、もうこれ以上失敗するわけにはいかないという気持ちが功を奏したのか、これまでで最も倍率が高い試験だったにもかかわらず1回で合格することができました。今までの失敗があったからこそその合格だったのかもしれない。失敗の連続でしたが、最後には『学校の先生になる』という夢を叶えることができました。そしてその4月、新卒の教員として川口市の中学校に着任しました。

失敗した者だけが持つ強さ

社会人としての教員生活がスタートしました。当然ながら、現実の学校はドラマのようにはうまく行かず、多少の困難に突き当たることもありました。しかし、これまでの入試での失敗のおかげで、「あのときよりはましだ。」と比較的どんなことにも挫けずに仕事をしている自分に気づきました。「社会にでたら浪人した者の方が強いんだ。」と予備校の先生が言ってくれました。そのことにこのとき気付いたような気がしました。これが失敗した者だけが持っている強さなのかもしれません。誰も失敗しようとして行動している人はいません。しかし、もし失敗してしまったら、それが成功のチャンスととらえ、前向きに進んでいくことこそ大切だと考えます。まさに「失敗は成功のもと」なのです。

高校の教頭だったとき、発表時に笑顔で合格通知を取りに来る生徒よりも、何も持たずに下を向きながら校門を出ていく生徒が気になりました。しかし、『君たちの方が強い人間になれるチャンスをもたらしたんだ。頑張れ!ただ、そのために親には多大な出費を強いることになってしまった。だから、親に感謝しつつ、大人になって働くようになったら人一倍親孝行してほしい。』と心の中で見送ってきました。さあ、間もなく公立入試です。3年生には、私と同じ思いをしてほしくないという気持ちでいっぱいです。しかし、万一希望が叶わなかったときは、もう一度この文章を読んでみてください。